

CASBEE 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都2ホテル新築工事	階数	地上8F、地下1F
建設地	京都市南区東九条上御壺町15-1	構造	RC造
用途地域	商業地域、準工業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,960 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年4月 予定	評価の実施日	2019年1月9日
敷地面積	1,457.03 m ²	作成者	西川 学
建築面積	1,092.26 m ²	確認日	2019年1月10日
延床面積	6,689.05 m ²	確認者	野原 義久



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

標準計算
 ①参照値: 100%
 ②建築物の取組み: 70%
 ③上記+②以外の: 70%
 ④上記+: 70%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
耐用年数高い材料を使用し、ライフサイクルコストを低減している。また断熱性能が高いため省エネルギー性が高い。		
Q1 室内環境 アルミサッシの遮音性能等級T-2	Q2 サービス性能 耐用年数高い材料を使用している	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし
LR1 エネルギー 断熱性能が高い	LR2 資源・マテリアル 硬質ウレタンフォームA種1を使用している	LR3 敷地外環境 耐用年数高い材料を使用しライフサイクルコストを低減している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される